

研究開発6 企業，国際機関等との連携

1 目的と期待される効果

(1) 目的

グローバルな視点で社会貢献している企業や研究施設等と連携し，グローバル社会の現状や課題について講義や講演を受けることで，さまざまな社会課題について実感するとともに，グローバル社会で活躍できる人材としての在り方や生き方を知る。また，世界で活躍している人からアドバイスや指導を受ける。

(2) 期待される効果

グローバル社会で活躍できる人材としての在り方や生き方について考えを深めることで，グローバル・リーダーとしての資質や態度を身に付けることが期待できる。また，グローバル社会で活躍している人との交流を通して質の高い，現実味のある課題研究を行うことが期待できる。

2 内容

企業等と連携し，各講座を実施する。生徒は各自の興味・関心により希望する講座に出席する。

3 実施方法

学校設定科目「GLアクティブ」において行う。企業等の連携により実施した講座や企業の研究室等に訪問した生徒は，終了後，実施報告書を提出する。提出された報告書及び活動の記録等を基に学校設定科目「GLアクティブ」の評価に加える。

4 検証評価方法

検証方法は，生徒及び教員に対して，取組ごとに記名式4択式アンケートを実施し，その結果と連携した企業等からの評価をもとに検証する。

5 実施内容

(1) 浅草現地調査+東京ジャーミイ・トルコ文化センターに行こう

(ア) 日 時 令和元年8月1日(木) 21日(水) 午前8時30分～午後5時00分

(イ) 場 所 浅草寺周辺(東京都台東区)
東京ジャーミイ・トルコ文化センター(東京都渋谷区)

(ウ) 対 象 1～2学年の希望者(参加60名)

(エ) 目 標

浅草を訪れているインバウンド(外国人観光客)へのインタビュー調査やイスラム寺院の訪問を通し，多様な文化への理解を深め，多文化共生社会構築を考える。また，GL世界史・GL日本史等で学習した知識を使い他国と日本の歴史・伝統・文化を比較し，研究課題を見つける一助とする。

(オ) 内 容

午前中は各自，浅草寺周辺でインバウンドに向けてインタビュー調査を行った。2学年は課題研究テーマに沿った内容で，まだテーマ決定の時期に至っていなかった1学年

は友人間で相談しつつ今回のためにテーマを設定して調査を行った。また、2 学年の課題研究に協力する 1 学年生徒もいた。

午後は東京ジャーミイ・トルコ文化センターで礼拝所などを見学し、施設の役割やイスラムの文化が欧米社会に与えた影響などに関する話を聞いた。自由時間には併設のハラールマーケットでハラール認証の食料や雑貨などを手に取ることができた。

(カ) アンケート結果

【GL アクティブ共通アンケート】（数値は回答数）

① 日本や地域の歴史・伝統・文化，社会課題をより深く理解する必要性を感じた。

おおいにあてはまる	だいたいあてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない
29 人	20 人	4 人	1 人

② 外国の歴史・伝統・文化，社会課題に関する興味・関心が高まった。

おおいにあてはまる	だいたいあてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない
35 人	16 人	1 人	2 人

③ 今回の GL アクティブの事柄を，外国人に英語で説明することができる。

おおいにあてはまる	だいたいあてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない
7 人	19 人	24 人	4 人

④ 今回の GL アクティブの事柄を，友人等と話し合うことができる。

おおいにあてはまる	だいたいあてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない
35 人	14 人	5 人	0 人

⑤ 今回の GL アクティブに関連する課題研究テーマを考えることができる。

おおいにあてはまる	だいたいあてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない
16 人	人	10 人	1 人

⑥ 課題研究に関する新たな（異なる）視点を得ることができた。

おおいにあてはまる	だいたいあてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない
22 人	28 人	4 人	0 人

⑦ この GL アクティブは，課題研究テーマを考えるのに役立った。

おおいにあてはまる	だいたいあてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない
26 人	22 人	4 人	2 人

【生徒感想】

- ・インバウンドへのインタビューは緊張したが，快く答えてくれて嬉しかった。もっと英語力を身につけたいと感じた。
- ・インタビュー調査を通して課題研究を進めることができた
- ・アジア系など英語を話せないインバウンドへのインタビューの仕方が課題だった。
- ・普段関わる機会の少ないイスラムの文化や考えを知ることができ，視野が広まった。
- ・イスラム教徒だけでなくキリスト教徒の話も聞いてみたい
- ・異文化理解とはその国の文化だけでなく，背景となる歴史を学ぶことだと感じた

(キ) 成果と課題

浅草でのインタビュー調査は生徒一人一人が熱心に取り組み、語学や課題研究に対する意欲を高めるよい契機となった。1 学年に対して 2 学年の課題研究への協力を呼び掛けたのが当日だったので、事前にその旨を伝えられればよかった。1 学年の研究テーマが研修実施前の段階で決まっていれば、1 学年も研究テーマに応じたグループを参加させることができ、より有意義な活動ができるのではないだろうか。

東京ジャーミイでは、イスラムという偏見を持たれやすい宗教に実際に触れることで生徒の見識を広げることができた。研修の前後で G L 世界史とより密接につなげることができるとよいと感じた。また、施設の方の話は大変興味深い一方、どうしてもイスラムの視点に寄りがちなものとなる。生徒の感想にあったように、キリスト教など他宗教の施設で話を聞く機会があると見方に深みが出るようにも思う。

(2) 歴博で、海外に発信する日本文化を身につけよう！①

(ア) 日 時 令和元年 8 月 6 日 (火) 13 時 30 分～16 時 00 分

(イ) 場 所 国立歴史民俗博物館 (佐倉市)

(ウ) 対 象 1・2 年希望者 (参加 14 名)

(エ) 目 的

海外で発信できる日本文化を学ぶ。今回は、近世の対外関係 (長崎を通じたオランダ・中国との関係) に関する説明、及び幕末開国期を含めた近世展示室の解説を中心とする。

(オ) 内 容

国立歴史民俗博物館福岡万里子准教授による案内・解説。

二つの大きな問いが提示されました。

①オランダ人は長崎でどんな貿易をしていたのか？

②ペリー来航の際、オランダ人は引き続き長崎 (出島) にいた。その頃、何をしていたのか？

この問いを頭に浮かべながら、近世第 3 展示室を案内していただきました。

当時のオランダは、アジア域内貿易の中継者であり、長崎から輸出された日本産物の主たる行き先が、インドやジャワ (インドネシア) であった。三角貿易、四角貿易ともいえる、複雑な経路をとり商品が流通し、巧みにオランダは利益をあげていた。日本からの輸出品も銀・銅から俵物へ変化していった点は、実物をつかい説明を受けた。

開国期、オランダの日本に対する外交スタンスは詳細に解説をしていただきました。日本から追放されたシーボルトが外交顧問として積極的にアドバイスをしていたこと。オランダ政府と駐日外交官は、徳川幕府に対して開国と貿易拡大を幾度も呼びかけたが、米英に比べて存在感を示せなかったこと。軍事力を背景とした米英とオランダの違い。幕府の海軍育成にオランダが貢献したこと。下田に駐留したアメリカ総領事ハリスの話も、佐倉藩の堀田正睦老中と関連があり、興味深いものでした。



(カ) アンケート結果

【GL アクティブ共通アンケート】（数値は回答数）

① 日本や地域の歴史・伝統・文化、社会課題をより深く理解する必要性を感じた。

おおいにあてはまる	だいたいあてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない
10人	4人	0人	0人

② 外国の歴史・伝統・文化、社会課題に関する興味・関心が高まった。

おおいにあてはまる	だいたいあてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない
10人	4人	0人	0人

③ 今回の GL アクティブの事柄を、外国人に英語で話すことができる。

おおいにあてはまる	だいたいあてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない
0人	1人	13人	0人

④ 今回の GL アクティブの事柄を、友人等と話し合うことができる。

おおいにあてはまる	だいたいあてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない
9人	5人	0人	0人

⑤ 今回の GL アクティブに関連する課題研究テーマを考えることができる。

おおいにあてはまる	だいたいあてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない
3 人	7 人	4 人	0 人

⑥ 課題研究に関する新たな（異なる）視点を得ることができた。

おおいにあてはまる	だいたいあてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない
9 人	5 人	0 人	0 人

⑦ この GL アクティブは、課題研究テーマを考えるのに役立った。

おおいにあてはまる	だいたいあてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない
6 人	7 人	1 人	0 人

【生徒感想】

- ・海外と日本の関わりを詳しく知ることができた。解説が丁寧で、より理解が深まった。
- ・学校の授業では聞くことのできない貴重なお話を伺うことができた。
- ・今まで学んだ日本史の内容に、新たな視点が加わった。
- ・歴博を再訪し、他の展示室も学んでみたい。
- ・たくさんメモをとることができたので、その内容をレポートにまとめ整理することにする。
- ・見たい展示がありそれを見学できてうれしかった。
- ・展示物を実際に見ると、ワクワクした。
- ・展示物がリアルで、当時の生活を想像することができた。
- ・教科書で学んだ内容が再現されていて感動した。
- ・博物館だからわからない内容ばかりが展示されていると思っていたが、今日の説明を聞いて、「それ聞いたことある」、「この出来事の裏では、こんなことが起きていたのか」など、とても勉強になった。
- ・こんな素晴らしい文化があったのに、それを知らないでいるのはとても損しているように思えた。これからは外国の方と接する機会が増えると思うので、もっともっと日本の文化を発信・伝承していきたい。
- ・他の展示室も見てみたくなった。
- ・歴博という貴重な博物館が身近にあることを改めて感じた。

(キ) 成果と課題

日本の歴史伝統文化を踏まえて、グローバルな問題を考える一助となった。生徒はさまざまな角度から歴史的事象を見る力が培われたようだ。今回は江戸期の外交に主眼を置き、鎖国という言葉が持つ偏見を取り除くことができた。幕末期の外交解説により、国際関係はデリケートで、かつ複雑なパワーバランスのもとにあることが実感できたと考える。

(3) 歴博で、海外に発信する日本文化を身につけよう！②

(ア) 日 時 令和元年8月23日(金) 13時30分～16時00分

(イ) 場 所 国立歴史民俗博物館(佐倉市)

(ウ) 対 象 1・2年希望者(参加 12名)

(エ) 目 的 海外で発信できる日本文化を学びます。今回は、中世(平安～室町)を中心に、権力者から庶民までの生活・文化の解説を中心とする。

(オ) 内 容

国立歴史民俗博物館田中大貴准教授による案内・解説。

既存の展示解説とともに、最新の研究成果を随所に交えていただき、歴史が進歩する学問であることが実感できました。中世コーナーは開設以来リニューアルされていないということで、現在の知見からすれば誤りといえる展示を何カ所か教えていただきました。学問とは、先行研究を鵜呑みにするのではなく、批判的に検証する姿勢が大切であることは、探究に取り組む生徒たちに大きな助言となりました。



(カ) アンケート結果

【GLアクティブ共通アンケート】(数値は回答数)

① 日本や地域の歴史・伝統・文化、社会課題をより深く理解する必要性を感じた。

おおいにあてはまる	だいたいあてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない
7人	5人	1人	0人

② 外国の歴史・伝統・文化、社会課題に関する興味・関心が高まった。

おおいにあてはまる	だいたいあてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない
6人	5人	0人	1人

③ 今回の GL アクティブの事柄を、外国人に英語で話すことができる。

おおいにあてはまる	だいたいあてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない
0人	3人	9人	0人

④ 今回の GL アクティブの事柄を、友人等と話し合うことができる。

おおいにあてはまる	だいたいあてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない
9人	3人	0人	0人

⑤ 今回の GL アクティブに関連する課題研究テーマを考えることができる。

おおいにあてはまる	だいたいあてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない
1人	7人	4人	0人

⑥ 課題研究に関する新たな（異なる）視点を得ることができた。

おおいにあてはまる	だいたいあてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない
5人	6人	1人	0人

⑦ この GL アクティブは、課題研究テーマを考えるのに役立った。

おおいにあてはまる	だいたいあてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない
6人	4人	2人	0人

【生徒感想】

- ・中世の文化について楽しみながら知ることができた。
- ・中世から今の時代に受け継がれている文化などを調べてみたいと思った。
また歴博を訪れ、じっくり見学したいと思った。
- ・貨幣、家具、畳などの使い方が今とは違うことを教えていただき驚きました。
- ・日記をカレンダーにそのまま書いたり、落書きがあったり、今と同じような使い方をしてい
るなと思いました。
- ・朝廷の役職・人物、またそれぞれの勤務状態の変遷などを調べてみたいと思いました。
- ・教科書で見たことのある展示物が多くて感動した。
- ・解説を詳しくしていただけて、理解が深まった。
- ・日本人の感覚（あたりまえの基準）の変化を感じることができた。
- ・展示物の中には、実際の当時の日記があり、昔の人の働く様子を垣間見ることができた。ま

た、その勤務状態が、あまりにも過酷で、日本人の働き過ぎは昔からなんだなと思った。

- ・ 模型がよくできていて、人が生き生きと表現されていた。
- ・ 戦国になると人の往来が活発になるのは知っていたが、平安・鎌倉の生活との差は大きくて、グローバル化や進歩は急激に進むのだなと思った。
- ・ 今まで聞いたことがない内容が多く新鮮だった。
- ・ 他の展示室もみたいと思った。今度見学した際は、自分でレポートにまとめてみようと思う。
- ・ 中世の日本は、海外との交流で学んだことを生かし、得られたヒントもとに、独自の発展をしていたことがわかった。
- ・ 中世は、中学校では詳しく学ぶことはなかったのでいい機会になりました。

(キ) 成果と課題

日本の歴史伝統文化を再確認する講座になった。日本文化の源流には、大陸文化があり、渡来人や遣唐使を通じてもたらされた文化が、日本独特の文化にアレンジされ、根付いていく過程を意識できた。研究が進み、展示の誤りや歴史的史料の評価が変わっていることを丁寧に教えていただき、学問や研究の重要性を考える機会になった。